



PLESS RELEASE

各位



大阪国際大学の学生が、カゴメ株式会社と協力して「ニッポンの野菜不足をゼロにする」をテーマに産学協働のプロジェクトを4月から始動する

カゴメ株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:寺田直行、以下「カゴメ」)は、健康サービス事業の一環で「野菜と生活 管理栄養士ラボ」を立ち上げ、創業以来120年で培った「食と健康」のノウハウを活かし食育コンサルティングを開始。そこに「食と健康」分野がある大阪国際大学(大阪府守口市、学長/宮本郁夫)人間科学部人間健康科学科の学生の発想と行動力を結集して、現代の若者の食生活改善に取り組もうというプロジェクト。学生の野菜不足解消に向けて、一人ひとりの食意識、野菜摂取意欲と課題解決力の向上を目指す。手始めに4月4日に新入生を対象にした「野菜と生活 管理栄養士ラボ」による特別講演から始める。

今回のプロジェクト全体の流れは、4月4日の特別講演のあと、カゴメによる講義があり、4月から9月にかけて学生が様々な調査を続け、10月に最終プレゼンテーションを想定。毎年見直ししながら3年間のプロジェクトを予定している。学生は成果を将来の仕事や就職活動にも活かしていく。

4月4日の特別講演は午前10時40分から12時10分まで、大阪国際大学5号館202教室で実施される。プロジェクトに参加する学生は10~20名を想定している。

厚生労働省の調査(*1)では、目標とされる一日350グラム以上の野菜摂取に対し、20~29歳の摂取量は男性で265グラム、女性で218グラムと全年代の平均よりも低い値となっている。
(*1 出典:平成29年国民健康・栄養調査、20歳以上男女の平均値)

▼本件に関する問い合わせ先

大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部

教学・教職センター 鈴木 輝久

電話 : 06-6907-4327(直通)

E-mail : mfa-grp@oiu.jp